

平成 25 年 12 月 12 日
国土交通省中部地方整備局
沼津河川国道事務所

国土交通省

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

Press Release

お知らせ

東駿河湾環状道路（三島塚原 IC^{みしまつかはら}～函南塚本 IC^{かななみつかもと}）が
平成 26 年 2 月 11 日に開通
～春の観光シーズン本格化の前に～

1. 概要

東駿河湾環状道路（三島塚原 IC～函南塚本 IC）の開通日が、伊豆半島の春の観光シーズン本格化前の平成26年2月11日に決まりましたのでお知らせ致します。なお、当日の開通時間など詳しい内容については後日お知らせします。

<東駿河湾環状道路 三島塚原 IC～函南塚本 IC>

開通日 : 平成 26 年 2 月 11 日（火・祝）

開通区間 : 三島塚原 IC～函南塚本 IC

延長 : 6.8 km

<開通により期待される効果>

- 東名高速道路沼津 IC～天城北道路大平 IC まで**広域な道路ネットワークが形成**され、**関東方面や静岡方面と伊豆地域の連携が強化** [資料 2]
- 環状道路の概成により適切な交通分担が図られ**都市圏内の渋滞が緩和** [資料 3]
- 河津桜まつりなど観光期のアクセス性が向上し**観光振興を支援** [資料 4]

2. 配布資料

資料 1 : 開通区間の概要

資料 2 : 広域ネットワークの形成

資料 3 : 環状道路による適切な交通分担の実現

資料 4 : 河津桜まつりなどの観光振興支援

3. お問い合わせ先 :

〒 410-8567 沼津市下香貫外原 3244-2

国土交通省 中部地方整備局 沼津河川国道事務所 副所長(道路)
調査第二課長

TEL 055-934-2010, FAX 055-934-2015

事務所 HP : <http://www.cbr.mlit.go.jp/numazu/>道路の異状を発見したら・・・道路緊急ダイヤル **#9910** (通話料無料・24時間受付)

開通区間の概要

東駿河湾環状道路(三島塚原 IC～函南塚本 IC)の6.8kmが春の観光シーズン本格化前の平成26年2月11日に開通。

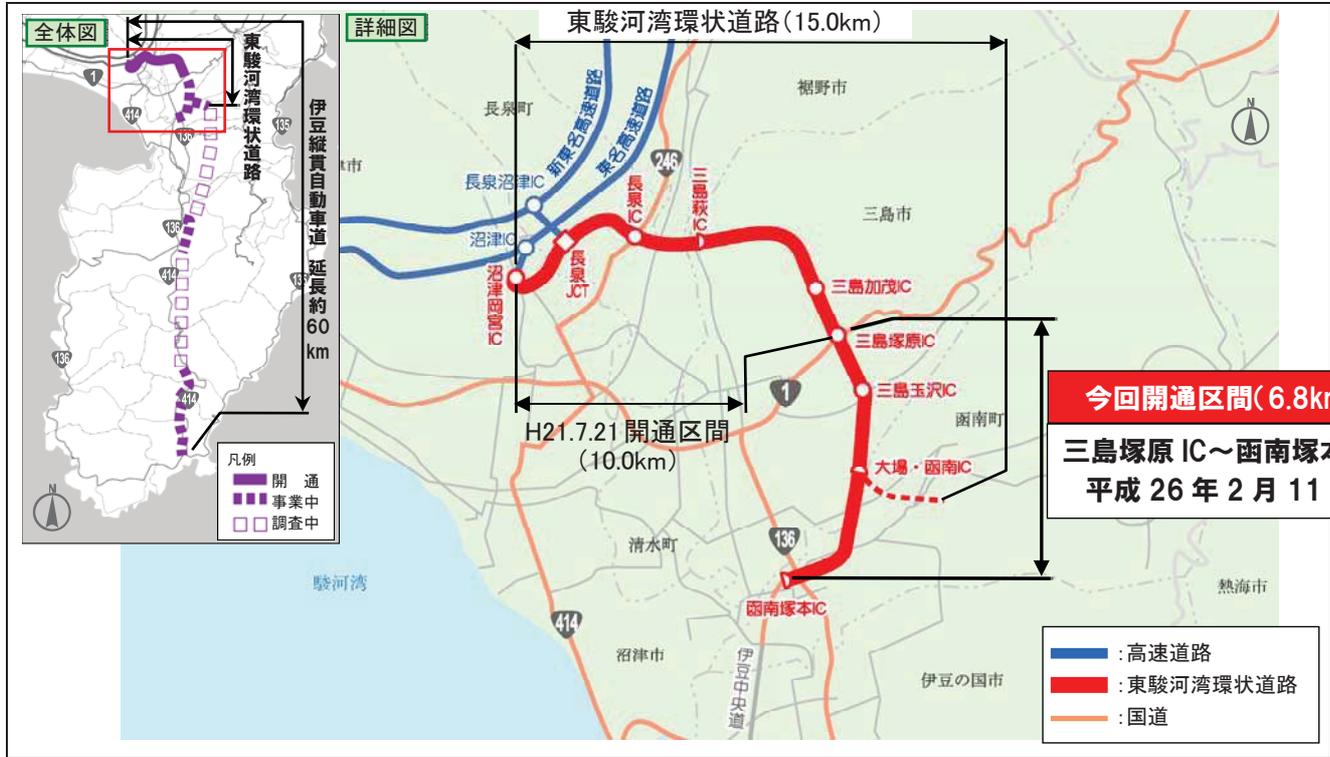
■事業概要

東駿河湾環状道路は、高規格幹線道路「伊豆縦貫自動車道」の一部を構成し、広域な道路ネットワークの形成や環状道路による沼津・三島都市圏の渋滞緩和、観光振興の支援等を目的とする一般国道の自動車専用道路です。

昭和63年度に事業化され、平成21年7月に東名高速道路に接続する沼津岡宮 IC から国道1号に接続する三島塚原 IC までの10kmが開通しています。

今般、三島塚原 IC から伊豆中央道・修善寺道路に接続する函南塚本 IC までの6.8kmの区間が開通して環状道路が概成するとともに、広域な道路ネットワークが形成されます。

■位置図



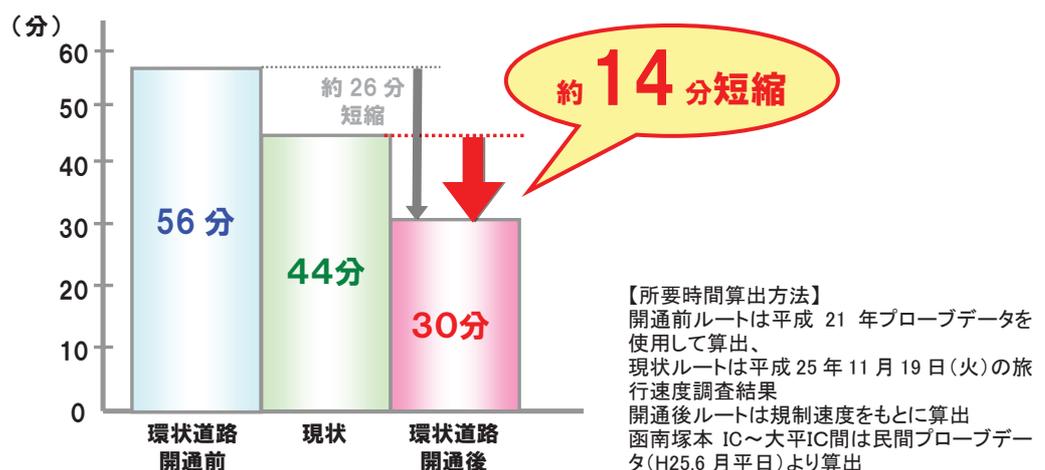
整備効果① 広域ネットワークの形成

東駿河湾環状道路が伊豆中央道・修善寺道路に接続し、**東名高速道路沼津ICから天城北道路大平IC(伊豆市)まで広域な道路ネットワークが形成され、関東方面や静岡方面と伊豆地域の連携が強化。**

・東名高速道路沼津IC～天城北道路大平IC間の所要時間は、現状では44分要していましたが、今回の開通後は**14分短縮**され、30分で行けるようになります。



東名高速道路沼津IC～天城北道路大平IC(約33km)の所要時間の短縮



整備効果② 環状道路による適切な交通分担の実現

環状道路の概成により、通過交通の都心流入を抑制する等の環状道路機能により、適切な交通分担が図られ、**沼津・三島都市圏内の渋滞が緩和**。

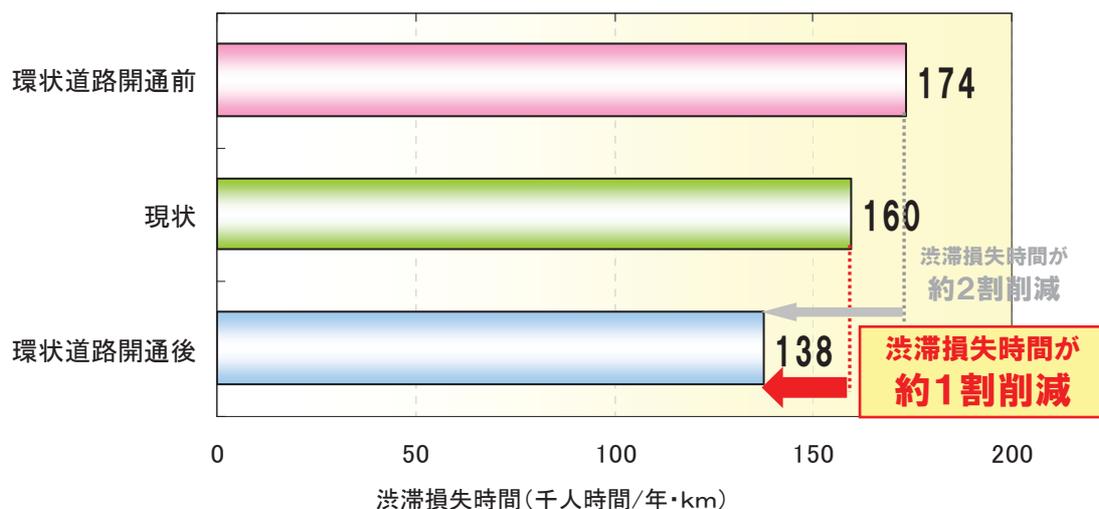
・沼津・三島都市圏では、伊豆方面へ通過していく交通と、都市圏内での生活にかかわる交通が混在する事により著しい渋滞が発生しています。東駿河湾環状道路開通後は、環状道路機能により、通過交通が抑制され、沼津・三島都市圏の渋滞損失時間が**約1割削減**されることが期待されます。

■沼津・三島都市圏の渋滞状況と環状道路の機能



主要渋滞箇所とは、静岡県道路交通渋滞対策推進協議会において、検討した県内の渋滞箇所について、パブリックコメント（意見収集）の結果及び最新データ等による検証の上、選定した渋滞箇所です。

■渋滞損失時間の削減



※渋滞損失時間の算定方法

環状道路開通前 : 渋滞損失時間確定値 (H20 年度)

現状 : 渋滞損失時間確定値 (H22 年度)

環状道路開通後 : 交通量推計により整備あり・なしにおける渋滞損失時間の変化率を求め、現況値に乗じて算定。

※渋滞損失時間の算定範囲

東駿河湾環状道路、国道 1 号、国道 246 号等に囲まれるエリアに含まれる県道以上の路線

整備効果③ 河津桜まつり等の観光振興支援

東駿河湾環状道路を利用する事で、河津桜まつり等の観光シーズンにおいて沼津・三島都市圏を通過することなく、**伊豆半島へアクセス可能となり、観光振興を支援。**

- ・河津町や南伊豆町からは、東駿河湾環状道路が開通し、観光振興に期待している声があります。
- ・2月から3月にかけて伊豆半島で開催される河津桜まつり時には、観光交通の集中による交通渋滞が発生していましたが、東駿河湾環状道路の開通で、伊豆半島へのアクセス性が向上します。

○東駿河湾環状道路の開通に対する期待の声

伊豆南部地域の周遊観光促進にも期待している。



河津町職員よりヒアリング

所要時間の減少により観光客の滞在時間の増加に期待している。



南伊豆町観光協会職員よりヒアリング

○伊豆半島へのアクセスルート

